

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4603		
科目名	ゼミナールⅢ		
担当教員	河本 志朗		
対象学年	4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 5		
講義室	1312	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP5-J〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP6-K〔表現力・対話力〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7-L〔協働力・牽引力〕集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 DP8-M〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1学識と専門技能－20% F1探求と論拠－10% F2問題解決－10% J2創造的思考－10% K1ライティングコミュニケーション－20% K2オーラル・コミュニケーション－10% L1チームワーク－10% M1統合的・応用的学習－10%		
教員の実務経験	担当教員は山口県警察に21年間勤務し、その間3年間外務省に、さらに3年間警察庁警備局に出向し海外安全対策やテロ対策に従事しました。その後、民間研究機関において18年間にわたり危機管理、テロ対策、組織犯罪対策の研究に従事しました。各授業回においては、こうした実務経験と研究経験を融合させた観点から、各々の学生の研究テーマの内容に応じて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（第1回～第15回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理とその基礎となる法学に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。ここでは、卒業論文に綱がある個人研究に関して、実際に歴史文献の収集や、社会調査、		

	事例分析や法学的検討など実証的な研究活動を通じて、オリジナルの一次資料による個人研究の作業を開始し、指導します。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 社会調査、事例分析、実証的な研究						
授業の趣旨	■副題 ゼミナールⅠ・Ⅱでの研究成果を踏まえて、卒業論のテーマを設定し、専門的な研究を進め、具体的な研究計画を策定して卒業論文の執筆に向けて研究を開始しましょう。 ■授業の目的 ゼミナールⅠ・Ⅱでの研究成果を踏まえて、卒業論文のテーマを設定し、文献の収集や、社会調査、事例分析や法学的検討など実証的な研究活動を行うための具体的な研究計画を策定し、設定したテーマにおける課題と課題の解決に向けて研究計画に沿って研究を開始することを目的とします。 ■授業のポイント ゼミナールⅠ・Ⅱでの研究成果を踏まえ、卒業論文のテーマ、課題を設定して、具体的な研究計画案を策定し、この計画に基づいて文献の収集や、社会調査、事例分析や法学的検討など実証的な研究を進めるため、研究計画案の発表及び相互討論を行う中で研究計画の妥当性を検討し、より精度の高い研究計画を策定することによって卒業論文作成に向けて研究をさらに前に進めることを目指します。						
総合到達目標	■これまでの研究生成果を踏まえて、卒業論文のテーマを設定することができる。 ・ゼミナールⅠ～Ⅱにおける研究を振り反って卒業論文のテーマ選定にむけた研究の妥当性を考察することができる。（第1回～第6回） ・最終的な卒業論文のテーマを確定することができる。（第1回～第6回） ■卒業論文のテーマを踏まえて具体的な研究計画書案を策定し、研究計画書案の発表及び討論を通じて、その精度を高めることができる。 ・卒業論文作成に向けて、これまでの研究成果を盛り込んだ研究計画書を策定することができる。（第1回～第6回） ・研究計画書の発表及び討論を通じて、研究手法の妥当性や正確性の精度を高めることができる。（第1回～第6回） ■研究計画に沿って、文献の収集や、社会調査、事例分析や法学的検討など実証的な研究を進めることができる。 ・研究計画において必要かつ妥当な研究手法を特定することができる。（第7回～第15回） ・特定された研究手法に基づいて研究を進めることができる。（第7回～第15回）						
成績評価方法	次の方法により成績を評価します。 ■研究計画書の発表（70%） （評価の観点）策定した研究計画案について、研究の課題、研究目的、研究の方法、論理構成の妥当性、完成度などについて、さらに研究計画案に基づいた論文作成の取組状況について評価します。 （フィードバックの方法）授業時間中に講評します。 ■授業参加度（30%） （評価の観点）他の履修性が発表する研究計画案に関して、研究の課題、研究目的、研究の方法、論理構成の妥当性、完成度などについて相互討論を行う中で、自らの考えを自らの言葉で発言することによって討論に積極的に参加して議論を進め、考察を深めることに貢献できているかについて評価します。 （フィードバックの方法）授業の時間中に講評します。						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	授業中は、積極的に発言することを求めますので、そのためには十分な予習をしておいてください。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ 研究計画案の策定 ②授業概要 自ら設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定して発表し、討論を行うことにより計画案の妥当性について検討することができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、発表に備えてまとめておく。 ④復習（120分）討論の結果を受けて、研究テーマや研究計画案の修正を検討する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 研究計画案の策定 ②授業概要 自ら設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定して発表し、討論を行うことにより計画案の妥当性について検討することができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ 研究計画案の策定 ②授業概要 自ら設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定して発表し、討論を行うことにより計画案の妥当性について検討することができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、発表に備えてまとめておく。 ④復習（120分）討論の結果を受けて、研究テーマや研究計画案の修正を検討する。	2	①授業テーマ 研究計画案の策定 ②授業概要 自ら設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定して発表し、討論を行うことにより計画案の妥当性について検討することができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした
回	内容						
1	①授業テーマ 研究計画案の策定 ②授業概要 自ら設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定して発表し、討論を行うことにより計画案の妥当性について検討することができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、発表に備えてまとめておく。 ④復習（120分）討論の結果を受けて、研究テーマや研究計画案の修正を検討する。						
2	①授業テーマ 研究計画案の策定 ②授業概要 自ら設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定して発表し、討論を行うことにより計画案の妥当性について検討することができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした						

	指導を行います。 ③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、発表に備えてまとめておく。 ④復習（120分）討論の結果を受けて、研究テーマや研究計画案の修正を検討する。
3	①授業テーマ 研究計画案の策定 ②授業概要 自ら設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定して発表し、討論を行うことにより計画案の妥当性について検討することができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、発表に備えてまとめておく。 ④復習（120分）討論の結果を受けて、研究テーマや研究計画案の修正を検討する。
4	①授業テーマ 研究計画案の策定 ②授業概要 自ら設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定して発表し、討論を行うことにより計画案の妥当性について検討することができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、発表に備えてまとめておく。 ④復習（120分）討論の結果を受けて、研究テーマや研究計画案の修正を検討する。
5	①授業テーマ 研究計画案の策定 ②授業概要 自ら設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定して発表し、討論を行うことにより計画案の妥当性について検討することができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、発表に備えてまとめておく。 ④復習（120分）討論の結果を受けて、研究テーマや研究計画案の修正を検討する。
6	①授業テーマ 研究計画案の策定 ②授業概要 自ら設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定して発表し、討論を行うことにより計画案の妥当性について検討することができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、発表に備えてまとめておく。 ④復習（120分）討論の結果を受けて、研究テーマや研究計画案の修正を検討する。
7	①授業テーマ 研究計画に基づいた研究の遂行 ②授業概要 研究計画案の検討を踏まえて、具体的な研究計画を策定し、これに基づいて研究活動を行い、進捗状況について報告し研究内容や方向性の妥当性などについて討論することにより、研究をさらに進めることができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）研究計画書に基づいて研究を進め、その進捗成果についてとりまとめ、報告の準備をする。 ④復習（120分）討論を踏まえて、研究の手法や方向性について適宜修正を加え、さらに研究を進める。
8	①授業テーマ 研究計画に基づいた研究の遂行 ②授業概要 研究計画案の検討を踏まえて、具体的な研究計画を策定し、これに基づいて研究活動を行い、進捗状況について報告し研究内容や方向性の妥当性などについて討論することにより、研究をさらに進めることができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）研究計画書に基づいて研究を進め、その進捗成果についてとりまとめ、報告の準備をする。 ④復習（120分）討論を踏まえて、研究の手法や方向性について適宜修正を加え、さらに研究を進める。
9	①授業テーマ 研究計画に基づいた研究の遂行 ②授業概要 研究計画案の検討を踏まえて、具体的な研究計画を策定し、これに基づいて研究活動を行い、進捗状況について報告し研究内容や方向性の妥当性などについて討論することにより、研究をさらに進めることができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）研究計画書に基づいて研究を進め、その進捗成果についてとりまとめ、報告の準備をする。

	④復習（120分）討論を踏まえて、研究の手法や方向性について適宜修正を加え、さらに研究を進める。
10	①授業テーマ 研究計画に基づいた研究の遂行 ②授業概要 研究計画案の検討を踏まえて、具体的な研究計画を策定し、これに基づいて研究活動を行い、進捗状況について報告し研究内容や方向性の妥当性などについて討論することにより、研究をさらに進めることができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）研究計画書に基づいて研究を進め、その進捗成果についてとりまとめ、報告の準備をする。 ④復習（120分）討論を踏まえて、研究の手法や方向性について適宜修正を加え、さらに研究を進める。
11	①授業テーマ 研究計画に基づいた研究の遂行 ②授業概要 研究計画案の検討を踏まえて、具体的な研究計画を策定し、これに基づいて研究活動を行い、進捗状況について報告し研究内容や方向性の妥当性などについて討論することにより、研究をさらに進めることができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）研究計画書に基づいて研究を進め、その進捗成果についてとりまとめ、報告の準備をする。 ④復習（120分）討論を踏まえて、研究の手法や方向性について適宜修正を加え、さらに研究を進める。
12	①授業テーマ 研究計画に基づいた研究の遂行 ②授業概要 研究計画案の検討を踏まえて、具体的な研究計画を策定し、これに基づいて研究活動を行い、進捗状況について報告し研究内容や方向性の妥当性などについて討論することにより、研究をさらに進めることができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）研究計画書に基づいて研究を進め、その進捗成果についてとりまとめ、報告の準備をする。 ④復習（120分）討論を踏まえて、研究の手法や方向性について適宜修正を加え、さらに研究を進める。
13	①授業テーマ 研究計画に基づいた研究の遂行 ②授業概要 研究計画案の検討を踏まえて、具体的な研究計画を策定し、これに基づいて研究活動を行い、進捗状況について報告し研究内容や方向性の妥当性などについて討論することにより、研究をさらに進めることができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）研究計画書に基づいて研究を進め、その進捗成果についてとりまとめ、報告の準備をする。 ④復習（120分）討論を踏まえて、研究の手法や方向性について適宜修正を加え、さらに研究を進める。
14	①授業テーマ 研究計画に基づいた研究の遂行 ②授業概要 研究計画案の検討を踏まえて、具体的な研究計画を策定し、これに基づいて研究活動を行い、進捗状況について報告し研究内容や方向性の妥当性などについて討論することにより、研究をさらに進めることができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）研究計画書に基づいて研究を進め、その進捗成果についてとりまとめ、報告の準備をする。 ④復習（120分）討論を踏まえて、研究の手法や方向性について適宜修正を加え、さらに研究を進める。
15	①授業テーマ 研究計画に基づいた研究の遂行 ②授業概要 研究計画案の検討を踏まえて、具体的な研究計画を策定し、これに基づいて研究活動を行い、進捗状況について報告し研究内容や方向性の妥当性などについて討論することにより、研究をさらに進めることができる（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。 ③予習（120分）研究計画書に基づいて研究を進め、その進捗成果についてとりまとめ、報告の準備をする。 ④復習（120分）討論を踏まえて、研究の手法や方向性について適宜修正を加え、さらに研究を進める。
関連科目	自主創造の基礎 1 RMGT1215、自主創造の基礎 2 RMGT1216、危機管理基礎演習Ⅱ RMGT2602、ゼミナールⅠ RMGT4601、ゼミナールⅡ RMGT4602、ゼミナールⅣ RMGT4604、と関連があります。
教科書	特にありません。

参考書・参考URL	履修生の研究テーマにより異なりますので、その都度示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日5時限 それ以外の時間についてはメールにて事前にアポイントを取れば対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 履修生の研究テーマにより異なります。 ■危機管理学と法学のバランス 履修生の研究テーマにより異なります。

